

昨年の6月・7月に塩竈と仙台で開催された絵本カーニバルにつづき、震災から1年4か月を過ぎたこの7月、福島県伊達市霊山町にある霊山こどもの村「遊びと学びのミュージアム」で開催される『りょうぜん絵本カーニバル2012』の準備に行ってきました。



#### ■ 2012.7.19 会場搬入

2012年7月21日から9月2日まで開催される「りょうぜん絵本カーニバル2012」には500冊を超える絵本が展示され、絵本づくりなど様々なワークショップが展開されます。



子どもに安心な工具を使わない組立式段ボールの本棚

今回、感動創造研究所では「移動絵本ライブラリー」で使用している絵本の中から約130冊と本棚什器7台を持って福島会場に入りました。

伊達市では、随所に放射線量測定器が設置され、放射線量や補償問題によるコミュニティの破壊が大きな問題となっていました。市内の道路や公共施設では除染作業が行われ、復興に向けて人々が前を向いて少しずつ進もうとしている姿を見ることができました。霊山こどもの村の敷地内でも懸命な整備作業の跡が見られました。

## ■ 2012.7.20 会場設営

組み立て式の段ボールの本棚を設置しました。運搬がしやすく軽量で簡単に組立ができると館の担当者の方に好評でした。遊びと学びのミュージアム1階アースフロア内に5つのカテゴリー（遊び、宇宙・地球・自然、暮らし、生命・からだ、幼児）で分けられた絵本を置きました。

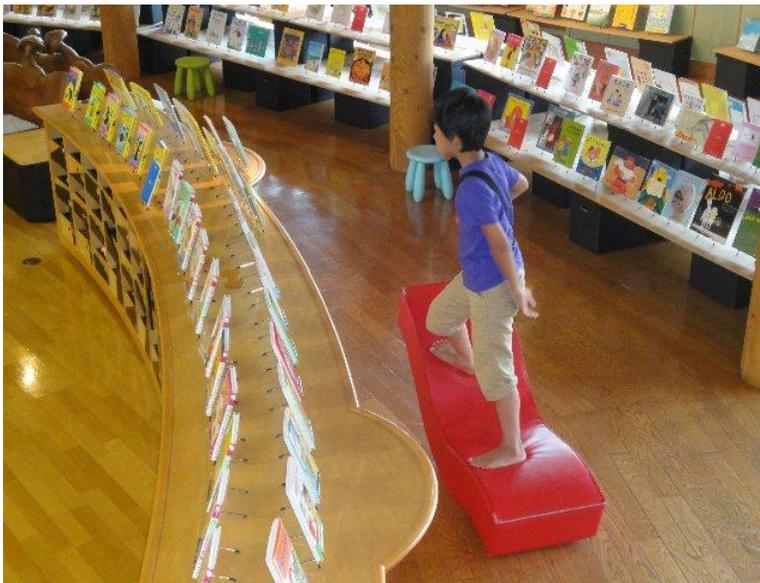


1階の展示装置で遊ぶ子ども



1階フロアのテーマ別に展示された絵本

開館から18年を経た施設とは思えないほどよく整備され、丁寧に使われているハンズオンの展示装置のなか、絵本が並ぶとカラフルな表紙が空間に映え、自然と温かみの溢れる今までとは一味違う魅力ある空間となりました。



2階ワークショップ用の棚に展示された絵本

2階アートフロアは、設備の整ったワークショップフロアです。普段は工作教室などのプログラムが行われている広々とした空間に、500冊の絵本がならべられると、カーニバルへの期待感が高まります。



2階に設置した宮沢賢治コーナーのディスプレイ

会場に入ると宮沢賢治のコーナーがあり、かばんを使ったディスプレイでお出迎えです。また、地元福島在住の詩人で、震災以来ツイッターで詩を発表している和合亮一さんのコーナーもあります。このように会場内は「作家」別の展示や、「おかあさん」「きいろ」などジャンルごとの分類で展示されています。来館した子供たちが見やすく手に取りやすく、と話しながらスタッフ全員で絵本を一つ一つ丁寧にスタンドに並べてゆきました。



宮沢賢治コーナーと絵本カーニバルのタイトルサイン



手書きのサインボードにイベントの案内を描くスタッフ

## ■ 2012.7.21 開催初日

霊山に雲がかかる肌寒い小雨のなかオープンを迎えました。天候のせいもありゆるやかなすべりだでした。

昨年11月から除染作業のため休館していましたが、4月に一部再オープンを迎え、この夏に絵本カーニバルを開催できることになりました。18年前の開館当初に携わった方も花を携えてお祝いに駆けつけていただきました。



展示ケースに収められたプラハから送られた作品



1階アースフロアで夢中に絵本を読む子ども

また今回、チェコのプラハから送られてきた紙芝居をミュージアムに寄贈し、展示をしていただきました。これはチェコ日友好協会が、日本の被災者を応援するため、チェコの子供たちによって作られたもので、ボタニカルアーティストで花と緑の研究所所長の 杉野宣雄氏からことづかったものです。「金色の髪の王女さま」という20枚の紙芝居は日本語で作られていました。



感動創造研究所発行の「感動のハナシ」

また、目黒実さんのコーナーの隣には、感動創造研究所発行の「感動のハナシ」を展示していただきました。絵本を愛する多くの大人たちにも読んでいただければと思います。午後3時から魔法の宅急便の著者である角野栄子さんと目黒実さんのトークショーが行われ、絵本カーニバルの行事としては、7月22日に「物語スコーレ」、8月12日に「絵本の森にすむいきものがたり」、8月26日に「あべさんのどうぶつワークショップ」などが開催されます。

子どもの命と健康を守りたいという願いのなか、福島では子供たちの遊び場所が今なお限られています。「絵本カーニバル」を通じて子供たちの楽しみ場と同時に大人たちの心のつながりを育む場となることを願います。見る人に感動をもたらす絵本の素晴らしい世界へどうぞお出かけください。



遊びと学びのミュージアムのプロデューサーでもある目黒実氏とスタッフ

## 【ご案内】

名称: りょうぜん絵本カーニバル2012

会期: 2012年7月21日(土)～9月2日(日)

会場: 霊山こどもの村「遊びと学びのミュージアム」

主催: 霊山こどもの村、九州大学子どもプロジェクト、NPO絵本カーニバル

協力: 社会福祉法人和泉会、株式会社ムラヤマ、感動創造研究所、hact(白兔)

住所: 〒960-0807福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1

電話: 024-589-2211

URL: <http://kodomoryozen.org/index.html>